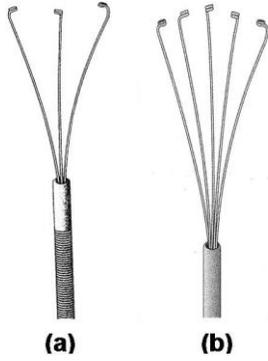


機械器具 25 医療用鏡
一般医療機器 内視鏡用軟性把持鉗子 35524000
内視鏡用処置具 (MTW 把持鉗子)

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造



(a) 三脚タイプ
(b) 五脚タイプ

外径	全長	形状
2.6mm	230 cm	三脚タイプ
2.5mm		三脚タイプ
2.5mm		五脚タイプ

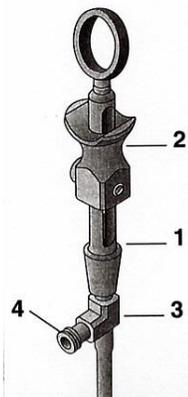
2. 原理

本品は内視鏡処置具として、内視鏡と併せて使用します。ハンドルで操作する事で機能します。

【使用目的又は効果】

把持鉗子は、胃、腸及びその消化管におけるポリープ、異物等の除去を目的とし、内視鏡的に使用します。

【使用方法等】



- (1)ハンドル部
- (2)本体
- (3)アタッチメント
- (4)ルアーロック用コネクタ

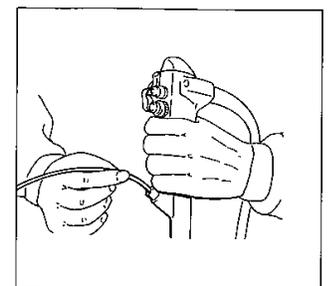
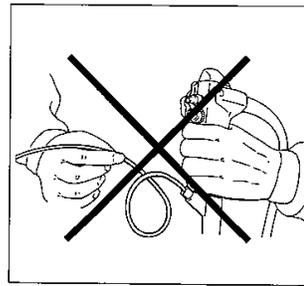
- ・包装紙を開け、製品に破損がないか確かめて下さい。
- ・閉じた状態の把持鉗子をゆっくり丁寧に内視鏡のチャンネル内に挿入します。
- ・ハンドル操作によってポリープ、異物等を把持します。
- ・目的の物を把持したまま体内より引き出して下さい。

- ・シリジ等を使ってルアーロック用コネクタより消毒液を注入するとチューブ内を洗浄する事が出来ます。
- ・滅菌方法： 本製品は、134℃までの温度で高圧蒸気滅菌を行います。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- ・使用する前に把持鉗子の機能チェックをして下さい。必要があれば交換して下さい。
- ・鉗子は約20cmの長さのチューブの中で動かす事と、本体(2)のハンドルを前後にゆっくり動かす事で正確に機能しているか確認できます。(ハンドル部を前後に動かす事により、鉗子部が容易に開閉できる事。)
- ・本品を丸める時、径を20cm以下にしないで下さい。
- ・内視鏡のチャンネル内に挿入している間は、下図のように絶対に曲げたりしないで下さい。



- ・器具先端の黒いプラスチックは構成品の一部です。絶対に取り外さないで下さい。

不具合、有害事象

本品の使用に伴い、以下のような不都合又は有害事象が発生する場合があります。

その他の不具合

- ・把持鉗子の変形、破損

重大な有害事象

- ・穿孔
- ・出血

その他の有害事象

- ・胃、腸及びその消化管粘膜の損傷
- ・胃、腸及びその消化管の炎症

【保管方法及び有効期間等】

・保管方法

- ・包装紙を開いた状態で水濡れに注意し、高温多湿な場所及び直射日光を避け、清潔な状態で冷暗所の平らな所に置いて保管して下さい。
- ・器具または包装紙の上に物を置いたり、危険物と一緒に保管しないで下さい。

・有効期間

- ・包装紙に記載

【保守・点検に係る事項】

・オートクレーブ滅菌が可能な器具の洗浄方法4ステップ

①洗剤と殺菌洗浄液

- ・自分自身の保護として、手袋、マスク、滅菌ガウンを付けて下さい。
- ・内視鏡のチャンネルから器具を取り出す時は、ガーゼなどで拭き取って下さい。

- ** ・その後、酵素洗浄溶液の入った容器に入れて下さい。
- ・チャンネルは、できればシリンジを使って酵素溶液で満たして下さい。

②超音波洗浄

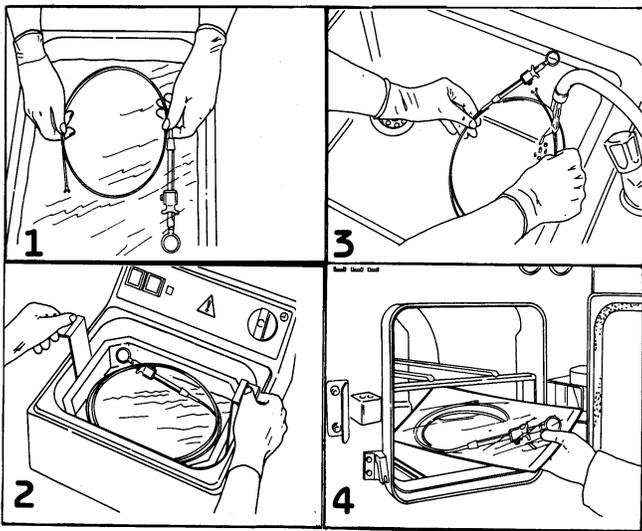
- ・器具を容器に入れ、滅菌用洗浄液に浸して下さい。
- ・チャンネルはシリンジを使って洗って下さい。

③洗浄

- ・清潔な水で洗って下さい。(ゆすぎ、洗い流して下さい。)
- ・内腔圧縮エアガンで吹き飛ばして洗い出す事をお薦めします。
(本品は分解ができません)
- ・洗浄後、器具が正常に機能するか確かめて下さい。
- ・器具の金属部分には潤滑油を塗る事をお薦めします。
- ・破損を防ぐ為に、器具を包装する時の直径は20 cm以上にして下さい。

④滅菌

- ・製造業者が指示する滅菌条件に従って滅菌を行って下さい。(134度の高圧蒸気滅菌(オートクレーブ)で5分間)
- ・器具を一般の方法で滅菌して下さい。(滅菌に関してはそのメーカーの説明書をよく読んで下さい。)



【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】

販売元：株式会社アビス

連絡先：

TEL: 079-275-1188 FAX: 079-275-1200

製造販売業者：株式会社エムディアイジャパン

連絡先：06-6358-8022

製造業者：エムティダブリューエンドスコーピー社

MTW Endoscopie W. Haag KG (ドイツ)